

平成29年度 帯広市民文化ホール運営審議会 議事概要

開催日時 平成29年8月24日(木) 18時30分～19時30分
場 所 帯広市民文化ホール 特別会議室
出席委員 岡田委員、角委員、田本委員、富川委員、羽賀委員、林委員
久富委員、藤崎委員、本江委員、横川委員 10名
事務局 草森生涯学習部長、森川企画調整監、渡邊文化課長、杵淵係長、
竹森主任補、土田主任補

【内容】

1 開 会

2 自己紹介

3 議 題

(1) 正副会長の選出について

- ・ 帯広市民文化ホール条例施行規則第18条第1項の規定に基づき、委員の互選により、本江委員を委員長、横川委員を副委員長に選出。
- ・ 本江委員長が議長となり、以後の審議を進めた。

(2) 平成28年度事業について

【説明】

①第六期帯広市総合計画における施策の実績(成果指標)、②利用状況表、③市民サービスの向上、④文化振興事業実績、⑤帯広市民文化ホールアンケート実施結果について事務局より説明

【質疑応答】

(委員)

- ・ グリーン電力とはどのようなものか。また、どのような仕組みか。

(事務局)

- ・ グリーン電力とは、太陽光やバイオマスなど自然エネルギーにより発電された電力のことで、通常文化ホールに電力供給をしている電力会社がグリーン電力発電事業者から電力を購入し、希望する量を通常の電気料金にプラスして支払う仕組みである。

(3) 平成29年度事業について

【説明】

①文化振興事業、②平成25年度～29年度の文化振興事業について事務局より説明

【質疑応答】

(委員)

- ・ 市内の小学6年生を招待している劇団四季の公演が文化振興事業に入っていないが、市はこの事業に関与していないのか。

(事務局)

- ・ この審議会の資料には文化振興事業として、市民文化ホールの指定管理者が実施している事業のみを記載している。劇団四季の公演は、子ども向け鑑賞機会提供事業の1つとして、学校教育部が担当している。

(委員)

- ・ 子どものためのバレエ「ねむれる森の美女」は、オーディションで選ばれた十勝・帯広の子どもたちが一部参加し、かつ質の高いプロの舞台を鑑賞できたとのこととても評判が良かった。

(委員)

- ・ 他地域は1つのバレエ教室の子どもたちが出演しているケースが多いが、帯広では各バレエ教室に呼びかけ、その中からオーディションで出演者を決めた。舞台監督からは、帯広の子ども達の踊りが素晴らしかったとお褒めの言葉をいただいた。

(委員)

- ・ 今年度の小・中学生のための札幌コンサートの開催日(10月3日)は、中学校の文化祭の代休日であり、多くの中学校が参加できないと思うが、この日程を回避することはできなかったのか。

(事務局)

- ・ 札幌コンサートは帯広市だけの単独公演ではなく、道東地域でツアーを組んで連日開催しているため、10月3日以外の公演が難しく回避できなかった。当日が代休日でない帯広第七以外の中学校の参加が難しいとの校長会の判断を受け、応募できる小学校の学年を増やすなど、多くの児童・生徒が鑑賞できるよう現在募集をしている。
今後は、学校のスケジュールについて校長会へ早期に伺うなど、代休日などと重複することのない日程調整に努めていく。

(委員)

- ・ 今年度の鑑賞事業は音楽系のジャンルが多く感じる。特に幼児、小学生低学年が親子で鑑賞できる演劇などの良質な舞台公演を、年1回は帯広市の主催事業としてやって欲しい。

(事務局)

- ・ いただいたご意見を踏まえ、次年度の事業計画を指定管理者とともに決めていきたいと考えている。

(4) 大ホール客席椅子の更新について

【説明】

- ・ 本年5月に六花亭製菓株式会社様よりご寄贈いただくことになった大ホール客席椅子の更新にあたり、平成31年1月14日から約3カ月間行う予定の更新工事のため、その期間大ホールの利用ができなくなる旨を本年7月に帯広市ホームページなどで周知を図ったことなど事務局より説明した。

【質疑応答】

(委員)

- ・ 大ホールが利用できなくなるのは、平成31年の話だが市民の利用に関わる話なので、早めの周知で良かった。

(委員)

- ・ 車椅子席の着脱、親子席などの特殊な席は変わらないとの認識でよいか。

(事務局)

- ・ 車椅子席のスペースはこれまでと同様にする予定で、脱着式の席にするかなどの手法については現在調整中である。親子席に関しては、音更文化センターなどでも採用されている通常の座席の上に載せるクッションの脱着式も検討している。

(委員)

- ・ 親子席は硬く座り心地が悪いなどとの苦情も聞くのでぜひ改善して欲しい。

(5) その他

【質疑応答】

(委員)

- ・ 現在、楽器の備付物件はピアノ4台だけか。また、オルガンなどの高額な楽器を備品として購入する予定はないのか。一般の団体では高額な楽器を購入できないので、そういう楽器が備品としてあるかどうかで、文化ホールの意味も変わると思う。

(事務局)

- ・ 楽器はピアノだけである。現状、新たな楽器の購入予定はないが、どのような状態が文化ホールにとって最適かも含め、指定管理者とも協議していく。

(委員)

- ・ 備品の購入に指定管理者も関係するのか。

(事務局)

- ・ 一部少額な備品を指定管理者で購入している。

(委員)

- ・ 文化ホール内で負傷した時などに備える保険はどこが加入するのか。

(委員)

- ・ 客席ではまずないと思う。舞台上での演者の負傷などは主催者で対応している。

(委員)

- ・ 文化ホールで防災訓練を実施しているか。

(事務局)

- ・ 法令に基づき年2回以上実施している。

(委員)

- ・ 近年は、男女共同参画の観点から母子と限定しないで欲しいとの声をよく聞くので、「母子室」を「親子室」にするなどの名称変更を検討して欲しい。

(事務局)

- ・ 今後、指定管理者とも協議し検討していく。

(委員)

- ・ 文化ホールの舞台職員は、打合せを入念に行い、照明のことなど親身になって相談にのってくれている。

(委員)

- ・ 文化ホールは避難所に指定されているのか。

(事務局)

- ・ 避難所に指定されていない。

(委員)

- ・ 現在、文化ホールで催される公演の前に、地震時の対応に関するアナウンスがされている。これは以前委員だった兵庫県神戸市出身の方が提案し、行うようになったもので、昨年水害による被災を経験し、改めて大事な取り組みだと思う。

4 閉 会